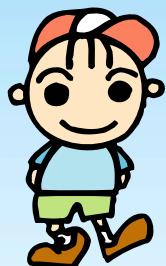


ダムっ湖

2003.10.15
三国川ダム管理所発行



さぐくん



りっちゃん

しゃくなげ湖畔でのウォーキングをよりお楽しみいただけるよう「**三国川ダムウォーキングマップ**」を、またダム地下トンネル(監査廊)見学の際、より三国川ダムのことを知っていただくために「**探検三国川ダム**」という2つのパンフレットをこの度作りました。

「三国川ダムウォーキングマップ」は、表面ではしゃくなげ湖畔の絵地図上に見所17カ所、裏面は三国川ダム周辺に住む生き物を写真付きで30種類紹介しています。

「探検三国川ダム」は、ダムの透視図を使ってダムの中にある多くの設備、観測装置などを易しく説明しています。

ともに三国川ダム管理所「展示室」でお配りしています。



間もなく紅葉

真っ盛りの三国川ダム

秋もたけなわ、三国川ダム周辺の山々もそろそろ色づき始めました。

一番のお勧めは、ダム周辺でもいち早く紅葉する一番奥の十字峡、美しい渓谷と木々の紅葉がプラスされ、まるで一枚の絵画を見ているようです。

皆さんも三国川ダムに来て、ここぞという一押しスポットを探してみてください。

※この新聞は再生紙を使用しています。



三国川ダムの第一の役割はダム下流の洪水による被害を軽減することにあります。

前号でもお知らせしたとおり梅雨や台風のシーズン（6月1日から9月30日）を「洪水期」と呼び、この間、管理所職員一同、昼夜を問わずいつでも適切なダムの操作ができるよう備えています。

今年も無事「洪水期」を終えることができましたので、今期の洪水の状況についてお話ししたいと思います。

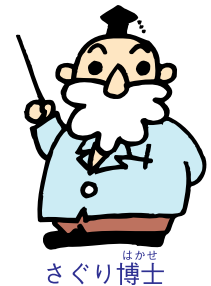
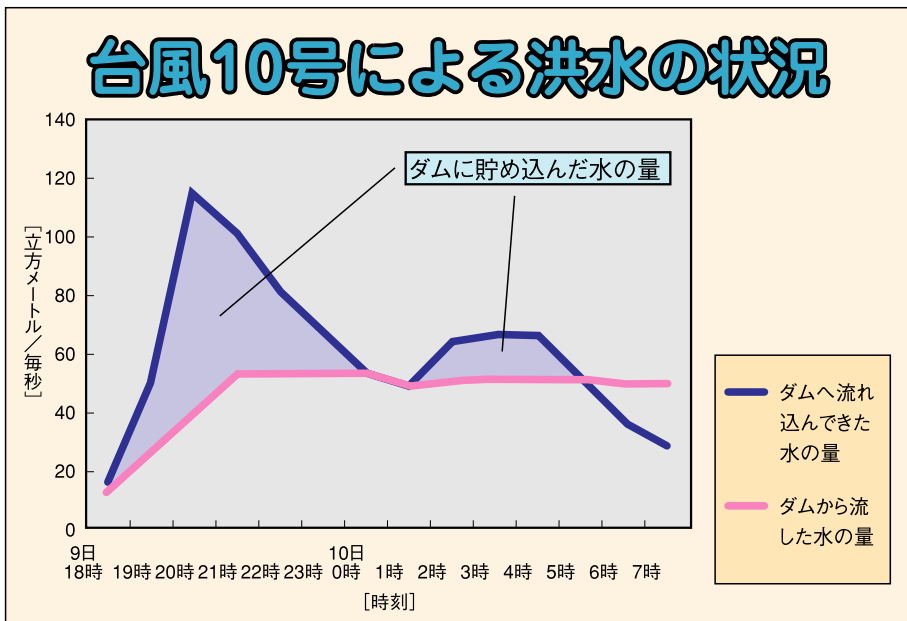
三国川ダムではダムへ流れ込む水の量（流入量といいます。）が毎秒50立方メートルを超えた時を「洪水」と呼んでいます。

平成6年の管理開始以降平均すると毎年4～5回の洪水が発生していますが、今年も4回とほぼ平常並みの回数となりました。

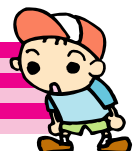
その中でも最も大きな洪水は8月9日台風10号の時でした。日本を縦断し特に北海道で大きな被害があったので記憶にある方も多いかと思えます。

この洪水ではダムの流域で85ミリメートルもの雨が降り、流入量は毎秒約120立方メートルに達しました。平成6年以降8番目の規模にあたります。

このときダムからは毎秒約50立方メートルの水を放流し、半分以上の水をダムにため込みダム下流での洪水を軽減することができました。



管理用発電設備 10年に一度のオーバーホール



現在、三国川ダムの全ての電力をまかなっている管理用発電設備（水力発電）が設置後10年を経過したことを受け、大規模なオーバーホールを行っています。このオーバーホールとは、車という車検のようなもので、定期点検等で発見した劣化部品や消耗部品の交換、補修を行います。

今回のオーバーホールを行うことによってまた、10年間フル稼働出来るようになります。ちなみにオーバーホール期間中の約2ヶ月半は発電を停止し、商用電源から電力を供給することになります。



水力発電機

インタビュー

今回はダム天端にありますが彫刻について、地元の彫刻家でいらっしゃいます野上公平さんのアトリエにおじゃましてお話を伺ってきました。

Q：ダムに彫刻を設置するまでの経緯についてお聞きしたいのですが…。

野上さん：平成5年に三国川ダムが完成し「地域に開かれたダム」ということで、地元の彫刻家で何か芸術作品を作ってほしいと当時の尾芦所長さんと加藤副所長さんが家に訪ねて来られました。“人造のダム”に合う彫刻をと考えて、藤巻さんと小出さんと私の三人で作ることになりました。ダムの天端に三つ、その他しゃくなげ公園・野外ステージのところに建立しました。



六日町大字六日町
二科会会員 野上公平さん

Q：作品を制作するのにどのくらいの日数がかかりますか。

野上さん：大きいものになりますと、一つの石を切って、削って、磨いてですから1年くらいかかりますね。

Q：三国川ダムの他にも郡内の公共施設等に設置されてありますか。

野上さん：大和病院の池・湯沢中学校・城内中学校・上関小学校・塩沢町公民館・塩沢の宝林寺・六日町の銭淵公園の一角・湯沢駅0番ホーム・湯沢町歴史民俗資料館などにあります。

Q：野上さんの作品には抽象的なものが多いように見受けられますがダム天端の「平安の祈り」—法輪—についてのコンセプトをお願いします。

野上さん：古代から文明は水のあるところに栄えた。そして、いつしか人間は水や水の力に科学的にメスを入れ積極的に利用し、今日の文明の発展に大きく貢献してきた。しかし、水は良いことばかりでなく時には大小さまざまな禍をもたらした。現代科学の粋を集めた雄大で美しい三国川ダムが、未来永劫深い慈愛で自然をうるおし、地域を育み、平安であって欲しいと限りない願いをこめて作ったのが、「平安の祈り—法輪—」です。

はい、わかりました。この地域に住む人々に禍がなく平和な日々を送って欲しいと言う願いが込められているのですね。四季折々の美しさを見せる大自然、しゃくなげ湖を背に建てられたそれぞれの作品には、訪れる人々にやすらぎと心のふれあいを与えてくれることでしょう。

今日はお忙しい中、わかりやすく説明して頂き大変勉強になりました。

本当にありがとうございました。

***** ダム天端の彫刻及びモニュメント *****



平安の祈り
(野上公平氏)
右岸側



水の精
(藤巻秀正氏)
中央部



湖のみより
(小出雄次氏)
左岸側



しゃくなげの花とダムを
イメージした噴水
管理所前

ダム見学

吉田北小学校の巻



9月4日に吉田町の吉田北小学校4年生58名の皆さんが、総合学習の一環として三国川ダムの見学にいらっしゃいました。前日の大雨が嘘のように上がり、太陽がサンサンと照っていました。恵まれた天候の中、生徒さん達は屋外でダムの役割などの説明や展示室で工事記録のビデオを鑑賞し、監査廊（点検用地下トンネル）見学を行いました。

監査廊見学を終えた後、疲れた様子もなく元気よく外に飛び出して行き、「自分にもあんな元気な頃があったんだよなあ。」とふと思いました。

流木の再資源化

三国川ダムには降雨のたびに上流の山々から雨水とともに倒木や折れてしまった木々の枝が流れ着き、その量たるや多い年では年間約360[立方m]、4トン積トラック100台分にも上ります。

これまで焼却処分としていたこの流木の山、大気汚染防止や廃棄物の有効利用のため今回、試験的に粉砕してチップ化、希望される方々に無償配布させていただきました。

予想を大きく上回る反響をいただき、配布予定期間の終了を待たずに用意した全てのチップをお配りすることができましたが、用意した数に不足が生じ、配布期間中にもかかわらずお断りさせていただいた皆様には、ご期待にそうことができずこの場を借りて謝する次第です。

今後、チップ化の実施も未定ですが、流木処理に限らず三国川ダムは環境負荷低減に様々な試行、努力をしていきたいと考えております。



チップ化前の流木の山。
雨が降るたびにダム周辺に漂着します。



チップ化して個包装。
数千体作りましたが1カ月を経ずに完パケしてしまいました。入手できなかった方、ごめんなさい。

編集後記

今年も大過なく無事、洪水期を終え、三国川ダムも一休み。立ち止まり、辺りを見渡せば秋を感じる赤、朱、紅、黄の山々に、水面に映える秋空の蒼。
「芸術」「スポーツ」「食欲」と何をするにもよい季節、表紙にあるような風景も楽しめる彼の地が週末を過ごす予定に入れれば幸いです。紙面の内容にかかわらず、ご意見、ご質問等、ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
お待ちしております。

(編集部一同)

◆編集・発行◆

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼郡六日町大字清水瀬686-59
TEL (025) 774-3015
FAX (025) 774-3092
<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>

